

肺がん検診に関する大切なお知らせ

住民のみなさまへ

これまで、肺がん検診において重喫煙者※(たばこをたくさん吸う人、たくさん吸っていたがやめた人)に対する「**喀痰細胞診(「たん」の検査)**」を実施していましたが、令和8年4月から**この検査は廃止となりました。**

※重喫煙者とは…喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の者

【喀痰細胞診廃止の理由】

肺がん検診としての喀痰細胞診は、近年の研究(有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン)において、検診を受けることによる不利益が利益を上回っているため実施しないことが推奨されました。

そのため、令和8年4月以降、重喫煙者に対する肺がん検診では喀痰細胞診を廃止し、胸部エックス線検査(レントゲン検査)のみで実施します。

症状がある場合



長引く
たん

血が混じった
たん


早めにかかりつけ医などの医療機関を受診してください。

何らかの病気が隠れている場合があります。

たばこを吸っている方へ



- 喫煙は肺がんなどの多くのがんの危険因子の1つです。
- 喫煙者は非喫煙者と比べて男性で4.4倍、女性では2.8倍肺がんになりやすくなります。
- 受動喫煙(周囲に流れるたばこの煙を吸うこと)も肺がんになる危険性を2~3割程度高めるといわれています。

◎がんを予防するため「禁煙」しましょう。 

→条件を満たせば、保険適用で禁煙治療が受けられます！
詳しくは担当課へご相談ください。

◎肺がんのリスクが高いため、毎年「肺がん検診」を受けましょう。

